0035480000

0035480-000

729－152

社会政策時報資料目録

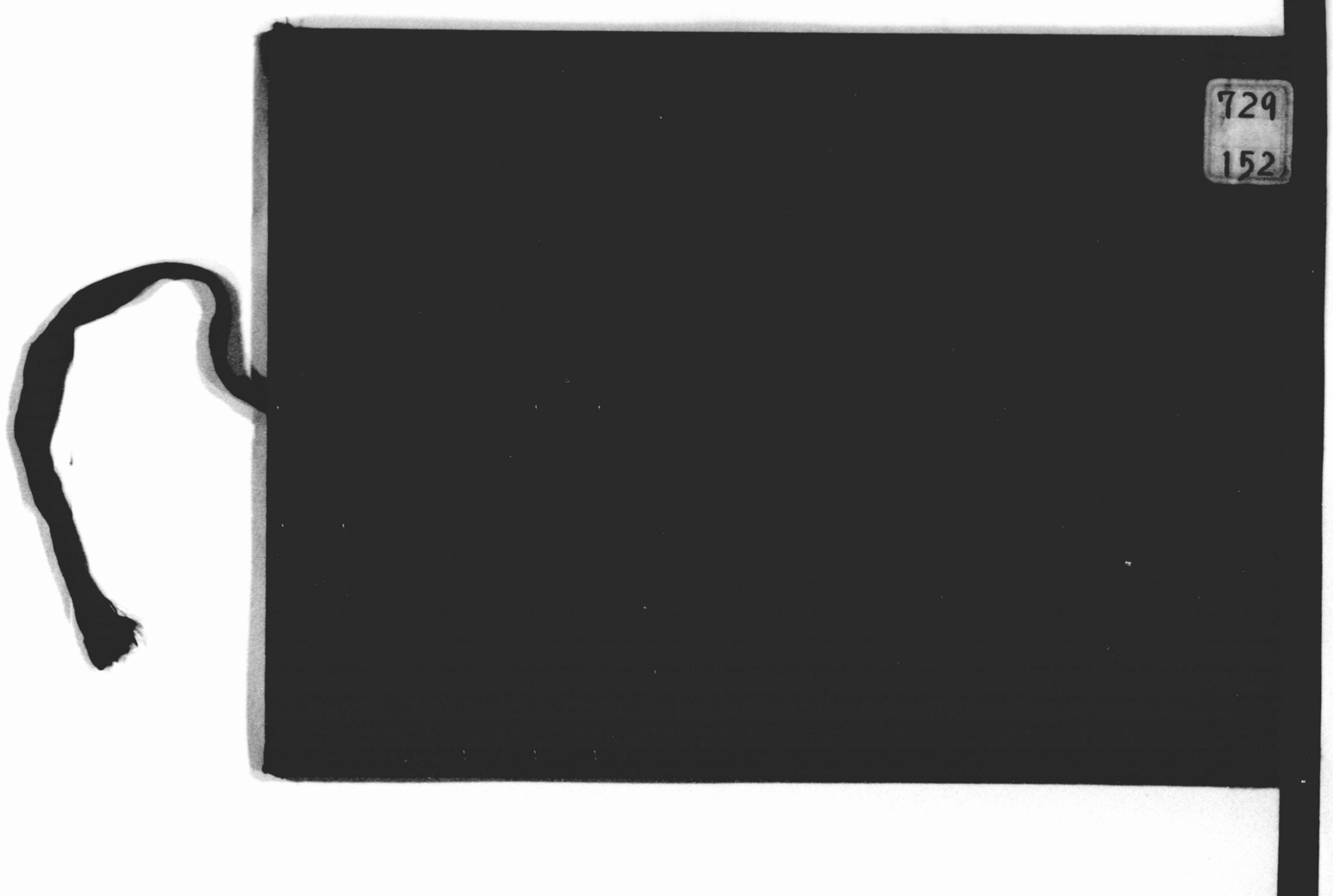
満鉄撫順炭砿図書室・編

満鉄撫順炭砿図書室

大正９年至昭和１１年（第１至１９５号）

昭１２

AGD



729
152

社會政策時報資料目録

昭和11年2月

滿鐵撫順炭礦圖書室

720
152

昭和12年2月

東京神保町
株式会社 岩 波 書 店
東京神保町
株式会社 岩 波 書 店

同図書室
寄贈本

729
152

社會政策時報

大正9年	(1 － 4説)	1頁ヨリ
大正10年	(5 － 16)	10頁ヨリ
大正11年	(17 － 28)	45頁ヨリ
大正12年	(29 － 39)	65頁ヨリ
大正13年	(40 － 51)	76頁ヨリ
大正14年	(52 － 63)	88頁ヨリ
大正15年	(64 － 75)	105頁ヨリ
昭和2年	(76 － 87)	118頁ヨリ
昭和3年	(88 － 99)	130頁ヨリ
昭和4年	(100 － 111)	142頁ヨリ
昭和5年	(112 － 123)	158頁ヨリ
昭和6年	(124 － 135)	172頁ヨリ
昭和7年	(136 － 147)	188頁ヨリ

135

昭和8年	(148 － 159)	204頁ヨリ
昭和9年	(160 － 171)	218頁ヨリ
昭和10年	(172 － 183)	229頁ヨリ
昭和11年	(184 － 195)	241頁ヨリ

未　完

大正9年版

第1號（創刊號）　内容見本

1・労働問題解決ノ根本義　澁澤　榮一
2・労働問題ニ關スル世界ノ大勢　桑田　熊藏
3・最近ニ於ケル8時間労働制(1)　島崎　一郎
4・我國ニ於ケル純益分配制度　協調會
5・我國ニ於ケル6時間労働ノ現況　宮崎　一郎
6・8時間労働ニ就テ　島島淳次郎
7・我國ニ於ケル工場委員會制度　協調會
8・我國最近ノ労働運動ノ概勢（上）　藤井　傳
9・明治年間ニ於ケル日本ノ労働團體（上）　荒川　貢
10・アメリカニ於ケル労働運動ノ危機　T　T　生
11・文明ニ對スル労働者ノ反抗　青木　節一

12 ・サボタージュノ由來　　労働運動　芳賀　榮
13 ・労働者團結權承認ノ意義　　協調會
14 ・吉力ノ結社　　小松謙助
15 ・國際労働會議ト其ノ將來　　武藤七郎
16 ・労働組合法案　　北岡壽逸
17 ・中産階級問題（上）　　小林丑三郎
18 ・歐乙最近ノ社會事情（上）　　宮島幹之助
19 ・教育者ノ生活難　　高橋正雄
20 ・內外社會事業大觀　　生江孝之
21 ・木賃宿ノ話　　不可見生
22 ・中央職業紹介所成績　　桑木巖翼
23 ・最近思想問題(1)

24・社會問題ニ關スル空想（上）　野澤生
25・協調會事業一班　中村英雄
26・社會政策調査所第一回講習經過ノ概要　川崎義哉
27・中央職業紹介所ノ設立ニ就テ　久田宗作
28・協調會設立趣意書及綱領

第2號（10月號）　内容資料

1	労資協調ノ一方法	氣賀勘重
2	最近ニ於ケル8時間労働制(2)	島崎一郎
3	我國最近ノ共濟組合	芳賀榮治
4	英國農業労働者ノ最近賃銀	島崎一郎
5	明治年間ニ於ケル日本ノ労働問題（上）	荒川賢
6	同盟罷業禁遏ノ是非	林癸未夫
7	産業代議制度ニ對スル米國雇主ノ意見	森田良雄
8	中産階級問題（下）	小林丑三郎
9	獨乙最近ノ社會事情（下）	宮都宮鼎
10	獨乙ニ於ケル鑛山ノ社會化	山川武
11	失業問題及我國現時ノ失業狀態	田野牽治

12 ・賀矢郎賀賃ノ真相　深見豊二
13 ・中央職業紹介所成績
14 ・社會問題ニ關スル空想(下)　野呂栄太郎
15 ・労働者過激化ノ心理　藤卜博
16 ・近代社會事業ノ根本精神　矢吹慶輝
17 ・協調會事業一斑　中村英雄
18 ・社會政策講習所第2回講習開始ノ經過　橋本夏男
19 ・全國職業紹介所現況　久田宗作

第3號（11月號）　内容資料

1．協調一社會共同ノ精神　　神戸正雄
2．最近ニ於ケル8時間勞働制　(3)　　島脇一郎
3．工場鐵利增進施設ノ二、三ノ例　　協調會
4．獨乙最近ノ勞働市場　　青木節一
5．二三工場ノ男女工ニ實行シタルサンタリデーノ成績　　岡村信吾
6．硝子工場職工事情　　協調會
7．我國最近ノ勞働運動ノ概勢（下）　　野井悌
8．職業防止論　　荒川貞
9．米國勞働者ノ教育　　山田政一
10．婦人勞働問題　　阿部秀助
11．農村社會問題概觀　　芳賀榮藏

12・不景氣時代ニ適切ナル勞働組合ノ施設	高田文友
13・獨乙新憲法ノ政治及經濟的意義	奥野彦六
14・簡易生命保險ノ現況	天岡直嘉
15・職業紹介事業ノ精神	八澤德三郎
16・失業ノ原因及其ノ影響	小林郁
17・ルーマニアニ於ケル土地國有問題	村松恭人
18・社會ノ暗黑流ト不良兒	山田司海
19・中流階級ハ勞働者ヨリモ樂シテ多數カ	深尾小雨
20・中央職業紹介所成績	
21・最近思想問題 (2)	
22・過激派思想感染ノ心理	白水勳
23・社會政策講習所第2回講習狀況	橋本復男

第4號（12月號）　内容資料

1	協調會宣言	協調會
2	勞働問題ノ本質ト其ノ解決方針	堅藏高貞
3	最近ニ於ケル8時間勞働制（完）	島崎一郎
4	美唄炭坑ト其ノ爭和會	有澤庄藏
5	我國工場委員會制度ノ現在及將來	森田良雄
6	交際坑夫ニ就テ	原田一穀
7	少年勞働保護問題	竹中秋吉
8	産業組織ニ於ケルデモクラシー	T・K・生
9	歐洲ニ於ケル獨乙ノ社會的立法問題（1）	宮部宮部
10	瑞西ノ疾病及災害保險（上）	協調會
11	治安警察法第17條問題	荒川賢

12．東京市ニ於ケル宅地外土地ニ就テ	澤　來太郎
13．東京市内各區ノ細民調査	染見　覺二
14．新聞記者協會ノ成立	久田　宗作
15．全國職業紹介所成績	
16．日傭労働者紹介成績	
17．最近思想問題　(3)	
18．罷業主義ノ現在ノ問題	戸城　太郎
19．ボイコット發達史	芳賀　榮造
20．勞働爭議ノ發表	

大正 10 年度

第 5 號（1 月號）　内容資料

1．労働問題ノ總結	添田敬一郎
2．製絲工場ニ於ケル女工事情	協調會
3．燐素ト鉛中毒ノ實際及其ノ豫防法	長谷川卯三郎
4．職工移動問題ト労働手續	鹿島證造
5．職工ト能率足ニ關テ	曲村信吾
6．米國労働問題ノ時數（上）	桂　信次
7．不景氣ノ労働問題	武藏七郎
8．戰後ニ於ケル獨乙ノ社會的立法問題（2）	宮都宮　熊
9．獨逸新憲法ノ政治及經濟的意義（上）	奥野彦六
10．瑞西ノ疾病及災害保險（下）	協調會
11．治安警察法第17條問題（下）	荒川實

12．ソヴイエツト露西亞ノ眞相	M. T. 生
13．獨逸ノ新聞カラ(1)	山田幸次郎
14．勞働運動ノ因由	山田 敬一
15．我國ニ於ケル勤儉貯金ノ現況	島崎 一態
16．不景氣變來ト失業問題	宮都宮次郎
17．隣レタル社會事情家	山田 司海
18．東京市内各區ノ細民窟調査	深見 豐二
19．猶太人側面觀	芳賀 榮治
20．日傭労働者紹介成績	
21．全國職業紹介成績	

22．社會思想ノ變態	越智 啓吾
23．最近思想問題	桑木 敏男
24．社會教育及倫理上ノ一疑問	高橋 正雄
25．社會主義ノ現在ノ問題	戸城 太郎
26．社會政策講習所第2回講習狀況	岡本 夏男

第6號（2月號）内容資料

1．協調會宣言ニ就テ	永井亨
2．製絲職工事情	協調會
3．鑛夫脫走記	淺韻辰森
4．米國勞働問題ノ特徴(下)	桂信次
5．英國勞働團体ノ種別及員數	林癸未夫
6．米國ノ產業會議	渡邊修藏
7．戰後ニ於ケル獨逸ノ社會的立法問題	宮都宮鼎
8．獨逸新憲法ノ政治及經濟的意義(下)	奥野彦六
9．瑞西ノ强制保險	協調會
10．獨乙ノ新聞カラ(2)	山田華次郎
11．處女兒童保護問題	原紹胤

12．黒人ノ社會生活	梁瀬　芳實
13．大阪人ノ社會事情	杉野本　尋
14．食糧價格問題	山友　三良
15．思想問題ト廣義	關醍　醐資
16．廣島社會協會婦人部ノ事業	
17．全國職業紹介成績	
18．最近思想問題概況	木本　敏製
19．勞働ト血行器ノ生理的關係	川谷長　卯三郎
20．勞働及思想問題	田添　壽一
21．社會問題ト財政問題	林小　丑三郎
22．社會問題ト宗教	室山　寅平
23．社會教育ト其ノ缺陷	橋島　正龍

24 。社會問題トシテノアルコール(1)　　堀木光太郎
25 。勞工ノ勞資協調觀　　倉宇政治
26 。字紙キ(1)　　蘆心亭主人
27 。社會政策講習所概況　　橋本夏男
28 。協調會事業經過　　中村英雄

第7號　（3月號）　内容資料

1	協調ニ對スル二種ノ非難	添田敬一郎
2	各國最近ノ勞働事情	高崎一郎
3	化粧品製造女工事情	協調會
4	婦人ノ報酬	芳賀榮壽
5	勞働組合ト共濟會	西家正七
6	長野縣下ノ農業勞働時間	竹中敬吉
7	モルト社會主義ノ人々	T. T. 生
8	勞働者教育雜感	桑野谷峻
9	勞働保險ノ刷新如何	神田孝一
10	伊太利ノ生産保險ノ趨勢	久保田明光
11	勞働者補償法ノ基本原理	澁井源治

12．塩酉ノ任意保險　　楊　調　會
13．獨逸ノ新聞カラ(3)　　山田章永郎
14．露國ノ最近社會運動ノ動向及因由(中)　　今井時郎
15．私生兒問題(中)　　油谷　碧
16．農村小作問題　　矢作榮藏
17．佛國ニ於ケル生計調査ノ原因及結果　　長岡保太郎
18．産ノ專業家　　山田司海
19．埼玉縣下ノ新百姓(中)　　淡見豐二
20．全國職業紹介成績
21．社會問題トシテノアルコール(中)　　樺木光太郎
22．牛繁殖(中)　　鷹心亭主人
23．計畫ト警察　　松井　茂

24．合理文明ノ破壊ト改善ノ苦悶　工藤重太郎
25．労働階級ニ於ケル利己主義ノ發達　高宇政浩
26．ホイラーノ見タル社會政策　湘南秀夫
27．社會政策講習所講習經過概要　橋本夏男
28．協議會傍聽經過　中村英雄
29．社會政策講習所同窓會ノ成立

第8號（4月號）内容資料

1	協調會ノ目的及事業ニ就テ	水井亨
2	少年労働者	芳賀榮治
3	染色整理其ノ他ノ加工業女工事情	
4	職工ノ不注意ニ因ル工場災害並ニ之カ豫防法	勝田一
5	林業労働ノ本質ト其ノ趨勢	武内彩一郎
6	戰爭ト英國女子労働者	長岡保太郎
7	最近英國ニ於ケル労働賃銀ノ變化	鳥崎一郎
8	労働ノート	協調會
9	生産保險ニ於ケル伊太利ノ立法	久保田明光
10	佛國ニ於ケル和解及仲裁制度	小川六

11	。獨逸ノ新聞カラ(4)	山田華次郎
12	。露國ノ最近社會運動ノ概況及因由(下)	今井時郎
13	。私生兒問題(下)	三田谷啓
14	。埼玉縣下ノ新百姓(下)	澁見猛二
15	。婦人ノ社會的地位ノ變遷	山口哲太郎
16	。農村問題ニ就テ	矢作榮蔵
17	。地主對小作人ノ紛爭(1)	太田利一
18	。農村ヲ救フノ道	H. Y. 生
19	。社會問題トシテノ兒童腸内寄生蟲	鵜村信吾
20	。全國職業紹介成績	
21	。新時代ノ指導原理トシテノ協調	山田敏一
22	。近代文化ト唯物史觀(止)	工藤直太郎

23．所謂思想問題ト文化問題	姉崎　正治
24．利潤ノ道徳的考察(上)	花　勝　生
25．出産率ノ諸問題	新井　鹹夫
26．職工ノ教育	蒲生　俊文
27．政策ノ對照トシテノ人間	奥野　彦六
28．協調會事業綜過	中村　兼雄

第9號　（5月號）　内　容　資　料

1．協調主義ノ道徳的基礎	田澤　晃鋪
2．職工ノ不熟練ヨリ起ル工場災害竝ニ其ノ豫防法	勝田　一
3．印刷製本事業女工事情調査	警視廳工場課
4．女工ノ群カラ淪落ノ女	牛尾　純二
5．海外社會ノート	協　調　會
6．勞働ノート	協　調　會
7．農林ト工業勞働者	朝倉　每人
8．戰後ニ於ケル獨逸ノ社會的立法問題(4)	宮都宮　鼎
9．獨逸勞働協議會法	林　癸末夫

10 . 伊太利ノ勞働者賠償法ニ就テ　黒川小六
11 . 歐米工場委員制度ノ發達トホイツトリー案　久保田明光
12 . 農業學生保護策トシテノ三時度制度　杉山又男
13 . 獨逸ノ新聞カラ(5)　山田華次郎
14 . 地主對小作人ノ紛爭　太田利一
15 . ロシヤノ經濟事情　萱場重藏
16 . 米國ニ行ハルル新シキ生活費節減方法　島崎一郎
17 . 米國ノ併國荒廢地救援事業　友山三良
18 . 農村社會問題(上)　中澤辨次郎
19 . 農村夜話(上)　大山勝太郎

20	貧民ノ歴史	柴田 芳賀
21	全國職業紹介成績	
22	近代文化ト唯物史觀(四)	工藤直太郎
23	利潤ノ道徳的考察(四)	花生 勘助
24	社會主義ニヨル出産ノ増減如何	高橋 正熊
25	ダーウイン ノ進化論ニ誤ラレタルヨーロッパ	藤井 悌
26	ボルシエヴィズム ノ滲入ニ對シテ	長岡保太郎
27	遊戯及遊戯場問題	新井 鮫夫
28	エルベルフエルト式救貧制度ヲ論ス	平竹 長
29	制度ヨリモ人	留岡 幸助
30	社會政策講習所概況	上野 篤

第10號　（6月號）　内　容　資　料

1．社會政策ノ根本思想	永井　亨
2．鉱業制度ト坑夫失業問題	柏本　暮川
3．製絲女工トスウエツテングシステム	藤井　悌
4．賃銀ト労働能率トノ關係	佐藤　輝雄
5．北海ニ流レ行ク労働者ノ群	遊佐　敏彦
6．坑夫失業問題及其ノ對策	柏本　暮川
7．海外社會日記	協調會
8．國内労働日誌	協調會
9．林業労働問題概觀	竹内彩一郎

10．1920年ニ於ケル英國ノ労働爭議　島崎一郎
11．冶金工ノ工場指取ヲ背景トシテ觀ル伊太利　長岡保太郎
12．農村労働問題調査ニ就テ　小室小四郎
13．獨逸農業労働組合ノ傾向　岡村格雲太
14．佛國農山労働者退職年金法(中)　黒川小六
15．獨逸炭坑公有新案　林発未夫
16．獨逸ノ新聞カラ　山田準次郎
17．地主對小作人ノ紛爭(3)　太田利一
18．農村社會問題(中)　中澤精次郎
19．農村夜話(四)　[illegible]山勝太郎

20．ロシヤノ経済事情　宮地　軍蔵

21．簡易保険積立金ノ運用ト社會事業　桑山　重男

22．支那ノ農村経濟　芳賀　榮壽

23．全國職業紹介成績月報

24．神前ノ道徳的考察(四)　花輪　勳生

25．労働運動ト政治運動教育資料　高橋　正雄

26．私有財産ニ關スル一考察(二)　工藤重太郎

27．社會事業ノ精神的方面　安部　磯雄

28．社會政策講習所近況　上野　篤

第11號（7月號）　内　容　要　旨

1	産業上ニ於ケル協調	永井　亨
2	労働者ロロ調タル賃銀問題	杉村陽太郎
3	出産制限ト坑夫ノ失業問題	遊佐　徹彦
4	鉱業ニ於ケル移動協議會制度	上田　孝三
5	工場委員會ト労働組合トノ關係ニ就テノ考察	久保田明光
6	海外社會錄記	協調會
7	國内労働日誌	協調會
8	最近10ヶ年間ニ於ケル各國職工組合ノ發達	島崎　一郎
9	宮尾炭坑事業制限ニ伴フ坑夫解雇顛末	櫻井　薫

10．米國勞働教育事情（中）　山田一藏

11．佛蘭西ノ坑山勞働者退職年金法（下）　黒川小六

12．獨逸ニ於ケル失業救濟制度（中）　山口省太郎

13．團体交渉問題　森田良雄

14．東京市ノ方面委員制度ニ就テ　平竹辰

15．獨逸勞働保險ニ於ケル出産保護　南正樹

16．獨逸ノ新聞カラ（7）　山田道次郎

17．地主對小作人ノ紛爭例　太田利一

18．農村社會問題（中）　中澤精次郎

19．職業紹介事業ノ國營ヲ論ス　青木働一

20．構造ニ於ケル住宅難ノ救済	堀切善次郎
21．山村住民ノ所有観念	武内彰一郎
22．社會事業ノ意義及範囲ニ就テ	生江孝之
23．公休制度	芳賀綏
24．朝鮮社會風俗概況	鹿島誠
25．農村主婦ヨリ見タル醤油問題ニ就テ	中込本治郎
26．貯蓄ノ消極的考察ニ就テ	花輪生
27．協調會趣意書，宣言及寄附行為	

第12號（8月號）　内　容　資　料

1・産業立地及産業自治ニ就テ　永井　亨

2・物價指數ニ依ル賃銀測定法　林　俊則

3・雇主ヨリ見タル賃銀問題　杉村陽太郎

4・大阪紡工業同業組合所屬職工關係事項一覽表　協調會

5・富士瓦斯紡績保土ヶ谷工場施設概要　協調會

6・海外勞働記　協調會

7・國内勞働日誌

8・米國勞働教育事情（中）　山田敬一

9・國際農業勞働會議ノ諸問題　中島重次郎

10 ・英國勞資協調諸制度　林　茂夫
11 ・大戰後ノ歐洲ニ於ケル勞働立法ノ傾向（上）　島崎　一郎
12 ・入會權ニ就テ　武田彩一郎
13 ・社會事業ノ意義及範圍（下）　生江　孝之
14 ・愛知縣ニ於ケル地主小作人間ノ紛擾　山根　忠好
15 ・地主ノ對話　石坂　養平
16 ・最近獨乙政治事情　堀切善次郎
17 ・遊休問題ト成人ノ教養　高橋　正雄
18 ・男女食物費比較研究　安田　榮一
19 ・住宅ニ關スル社會政策　宮部　準次

20・公設市場	芳賀 綏
21・山林共有ノ實情ニ就テ	小林 茂
22・理想主義ヨリ見タル經濟問題（下）	中込本治郎
23・勞働時間ノ科學的研究	若林 米吉
24・マルキシズムノ經濟的批判	上田 幸三
25・幕府政治ヲ論シテ社會政策ノ根本問題ニ及フ	奥野 彦六
26・勞働問題解決ノ根本義	蔵澤 美一
27・最近日本ニ於ケル勞働紛議	

第13號（9月號）　内容資料

1・伊太利ニ於ケル労働不安　　[illegible]次郎

2・製絲工女労働組合及工[illegible]　　[illegible]

3・工場設備ト能率　　若林米吉

4・レバハルム氏ノ6時間交替制ニ就テ　　吉本泰

5・住友ノ工場委員制度　　協調會

6・小作農業賃銀労働者ノ生計狀態　　中鄕[illegible]次郎

7・海外労働雜記　　協調會

8・國内労働日誌　　協調會

9・米國労働教育事情（下）　　山田敬一

10 ・ L ，W ，Y ノ組織　山田 盛一
11 ・ 友愛会物語　古賀 逸
12 ・ 独乙ニ於ケル失業救済制度（下）　山口哲太郎
13 ・ 大戦後ノ欧洲ニ於ケル労働立法ノ傾向（上）　島脩 一郎
14 ・ 新西蘭ノ産業仲裁々判制度　藤堂 欣希
15 ・ 独乙ノ新聞カラ（8）　山田準次郎
16 ・ 独乙ノ政黨
17 ・ 簡易保険積立金ノ本年度新規運用事業ニ就テ　桑山 俊男
18 ・ 青物市場ノ改造ニ就テ　西山 朝吉

19	・結核ニ依ル傷痍軍人ノ實態ト其ノ豫防法	長谷川卯三郎
20	・特殊部落發生史	芳賀　榮造
21	・滋賀縣ノ特殊部落ニ就テ	伊那　玄夫
22	・貧困ノ道徳的考察(下)	花　生
23	・ゴールスワージノ社會劇	高橋　正雄
24	・勞働問題ノ歸結	添田敬一郎
25	・最近日本ニ於ケル同盟罷工	

第14號（10月號）　内　容　資　料

1・工場操業トシテノ音樂，舞踊及軟劇　小林　愛雄

2・安全運動ト工場從業者ノ心身檢査　猪生　俊文

3・歐洲諸國ニ於ケル8時間制實施狀況　山村　忠好

4・工場勞働者ノ缺勤ニ就テ　杉之原舜一

5・我國ニ於ケル農業勞働事情（上）　中澤弘次郎

6・工場委員會制ノ實施ニ就テ　森田　良雄

7・海外勞働雜記　協調會

8・國内勞働日誌　協調會

9・婦人勞働問題ニ就テ　藏原芳雄

10・最近日本ニ於ケル婦人社會主義運動　伊部玄夫

11・國際平和ト勞働者ノ地位　青木徳一

12・大戰後ノ歐洲ニ於ケル勞働立法ノ傾向（下）　島崎一郎

13・國際交渉　高橋正雄

14・革命後ニ於ケル露國政府ノ農業政策　武智勝正

15・獨乙ノ新聞カラ(9)　山田準次郎

16・本邦社會事業ノ現況　生江孝之

17・英國海員養成方針　高松正雄

18・獨乙ノ物價指數　長岡保太郎

19・俸給生活者ノ住宅難　藤海鉉二

20 ・新聞賣子ノ調査　稻葉宗一
21 ・木場ノ川並　平竹辰
22 ・流行唄ノ變遷　芳賀綏
23 ・私有財産ニ關スル一考察（下）　工藤直太郎
24 ・集團心理学上ノ諸問題　若林米吉
25 ・群集心理ト指導者心理　佐久間鼎
26 ・經濟的合理化ノ極致トシテノ「社會化」　上田孝三
27 ・進化論ヨリ觀ル社會民主義　阪田實
28 ・勞働會ニ對スル二種ノ非難　添田敬一郎
29 ・最近國內勞働事情

第15號（11月號）　内容資料

1・労働委員會法制定ノ必要	添田敬一郎
2・労働委員會法制定ニ關スル建議案	協調會
3・労働委員會法案	協調會
4・労働委員會規則例	協調會
5・我國ニ於ケル農業労働事情（下）	中濱栄次郎
6・佛國ニ於ケル労働者家族手當	黒川小六
7・西班牙ニ於ケル労働不安	堀切善次郎
8・失業ノ脅威ト失業者ノ運動	近藤彦
9・英國ニ於ケル貿易移動近況	協調會

10 . 海外労働雑記　協調會

11 . 國内労働日誌　協調會

12 . ノンパルテイザンリーダ　藤井　篤

13 . 勞働社會民主黨政綱改正案　堀切善次郎

14 . 獨逸ニ於ケル労働教育　久保田明光

15 . 女子及少年労働者ニ關スル英國ノ新立法　島崎一郎

16 . 疾病保險制度ニ就テ　田中　貢

17 . 英國ニ於ケル農業労働者ト失業者保險案

18 . ギルド制度ノ下ニ於ケル產業組織　古賀　進

19 . 革命後ニ於ケル露國政府ノ農業政策　武智勝正

20．勞農露西亞ノ新經濟主義　鐵木忠正

21．社會事業聯絡機關ノ沿革及現狀　生江孝之

22．住宅問題　西垣恒矩

23．私立中等學校ノ病弊　青木健作

24．食糧品價格調査　梁瀬豐二

25．社會的進歩ト相互扶助　高橋正熊

26．產業民文化ノ趨勢　チエイニー

27．ヘブライ理想ト社會的公正　山田敏一

28．日本ニ於ケル最近ノ勞働爭議

第16號　（12月號）　内　容　參　考

1．硫黄中毒ノ惨害及其ノ豫防法　長谷川卯三郎

2．勞働疲勞ニ就テ　若林　米吉

3．鑛和期運問題　岡村稻彌太

4．海外勞働短記　協調會

5．國内勞働日誌　協調會

6．ドイツ勞働組合ノ統一運動　藤井　悌

7．歐米ニ於ケル女子勞働及女子勞働者問題ノ歷史的研究　久保田明光

8．不具勞働者雇用强制問題　島崎　一郎

9 . 地主組合及小作組合ノ目的ニ就テ　中島辰次郎

10 . 労働組合加入者増加ノ趨勢　廣田文雄

11 . 我國ニ於ケル労働爭議ニ關スル調査　古賀進

12 . 村有小作地設定ノ變　衛内名左衛門

13 . 中部ヨーロツパ諸國ニ於ケル耕地改革　岩下敏澄

14 . 露國ニ於ケル農業ノ將來　武智勝正

15 . 明治大正維新史(2)　芳賀榮治

16 . 社會ノ第1要件トシテノ公正　高橋正雄

17 . クロウデルノ宗教劇　岡野馨

大正11年度

第17號（1月號）内容資料

1．社會政策ノ精神ト勞働委員制度　河津　暹
2．工場委員會制度概觀　藤井　悌
3．我國ニ於ケル工場委員會制度　久保田明光
4．勞働委員會制度ノ運用　小林鐵太郎
5．20年前ニ工場委員會制ヲ採用シタル經驗　田藤市
6．ホキツトリ報告以前ノ英國勞資協調諮案　山田敏一
7．英國鐵道事業ニ於ケルホキツトリ案ノ應用　久保田明光
8．獨逸國營協議會制概觀　上田孝三
9．佛國ニ於ケル工場委員會制度　長岡保太郎
10．墺太利ニ於ケル經營協議會制度　上田孝三
11．諾威ニ於ケル工場會議法　黒川小六

12．白耳義ニ於ケル協議會制度　久保田明光
13．チエツクスロヴアークニ於ケル工場委員會法　黒川小六
14．米國ニ於ケル工場委員會制度　山桝忠好
15．最近獨逸國勞働立法
16．最近米國勞働立法

第18號（2月號）内容資料

1．英國勞働教育運動淵源　山田　徹一
2．米國勞働運動及英國勞働黨ノ現況　鶴見　祐輔
3．佛國ニ於ケル勞働者家族手當　黒川　小六
4．英國ニ於ケル不具者雇用問題　島崎　一郎
5．英國婦人勞働者ノ最低賃銀　水上鐵治郎
6．英領加奈陀ニ於ケル徒弟制度ノ近情　村上源太郎
7．失業ノ原因トソノ唯一救濟策　バーカー
8．シカゴ市印刷工場ニ於ケル利益分配法及ボーナス制度　井上　龍夫
9．豪洲賃銀法ニ現ハレタル基本賃銀主義　ヒートン

10	労働爭議ノ原因及要求ニ就テ	富井一彦
11	最近英國労働爭議	
12	資本主義ト物質的進歩ニ於ケル其ノ貢獻	岩下堅造
13	工場作業ノ心理學的考察	若林米吉
14	英國ニ於ケル共營住宅	南木性
15	英國ノ建築ギルド	松岡尙豊
16	最近爆撃事情	堀切善次郎
17	日本工業カ毎年損失スル「避ケ得可キ空費」三億圓	ベヅデス
18	クレエンクビル	岡野駿
19	明治大正繊維史	芳賀榮造

第19號（3月號）内容資料

1．スカンヂナビア諸國ノ勞働不安　堀切善次郎
2．能率統制竝及能率心理ニ就テ　宮井一彦
3．農家勞働ニ於ケル小兒保護問題　中原龍藏
4．工場音樂ノ創作ト指導　小林愛雄
5．有夫女工ノ出産竝其ノ生兒ニ關スル研究　中原龍藏
6．海外勞働雜記　協調會
7．國内勞働日誌　協調會
8．獨逸ニ於ケル社會保險　壹場重藏
9．明治大正肇牖史(下)　芳賀榮藏

10．最近各國政府ノ採レル移民政策　島崎一郎
11．英國ノ農業政策　岩下堅治
12．卸賣及小賣價格ト生活費トノ關係　松岡尚義
13．社會保險（「運輸勤小」ト「失業問題」トニ就テ）
14．監獄視察記　中野清
15．デモグラシーニ於ケル少數指導者ノ意義　中込本治郎
16．勞働心理ト勞働教育　島橋正熊
17．大憲ガンデイカ事ト　村口源太郎
18．德川會長及澁澤副會長ノ逝朝
19．立憲的產業　永井亨
20．國內勞働日誌

第20號（4月號）　　内容資料

1・英國ノ炭坑委員會	森田	良雄
2・母親給與金ニ關スル各國ノ施設	南木	性
3・シカゴ印刷工賃金調節ノ要因トシテノ生活費	水上	鐵治郎
4・獨乙ニ於[redacted]業爭議ノ調停方法	松岡	尚義
5・自由勞働者ノ保護ト其ノ善導	安田	龜一
6・ロンドンノ通信		
7・福利增進施設ニ就テ	西村	謙吾
8・問題トナルル染料中毒ニ就テ	長谷川卯三郎	
9・佛國ニ於ケル團体的勞働契約ニ關スル理論	高橋	正雄
10・科學的管理法批判	若林	米吉
11・獨乙產業事情	高井	四郎

12 ・ 米国ノ各ポト分担区 村上 朝太郎
13 ・ 警察官自衛ノ発達 岩下 源治

第21號（5月號）　　内容資料

1・濠洲在住ノ朝鮮労働者ニ就テ（上）　石浜　知行
2・海外労働通記　協調会
3・国内労働日誌　協調会
4・英国消費組合近況　藤田　良雄
5・伊太利ノ組合運動　高橋　正雄
6・印度ニ於ケル組合運動　水上　鐵治郎
7・東京ニ於ケル消費組合ノ現況　静田　五雄
8・丁抹国労働教育　山田　敬一
9・米国児童保護法ノ發達　村上　頴太郎
10・第45議會ニ提出セラレタル労働関係諸法案
11・社會興論（過激社會運動取締法案ニ就テ）
12・実質ノ正當ナル計算　宮田　庄吉
13・協調主義ノ道徳的基礎　田澤　義鋪

第22号（6月號）　　内容資料

1	戰後最近ノ勞働問題	永井　亨
2	滿洲在住ノ朝鮮勞働者ニ就テ（下）	石濱　知行
3	鐵道省鐵道局事員ノ賃銀及勤務時間	大江　志乃夫
4	佛國戰線ニ活動セル支那勞働者ト其ノ近況	小林　榮三
5	勞働不安ト勞働心理	若林　米吉
6	海外勞働事情	協調會
7	國内勞働日誌	協調會
8	最近勞働爭議ノ決關ニ基ク最近各國ノ規レル立法其ノ他ノ措置	島崎　一郎
9	勞働分配制度ノ本質的差異ヲ論ジテ類似制度ノ批判ニ及ブ	久保田　明光
10	クインスランドニ於ケル勞働爭議裁判制度	岩下　誠
11	災害防止ニ關スル立法	コンモンズ
12	米國勞働者ノ平和運動	青木　榮一

13・社會調査ノ方法（上）　山口　正
14・經濟有機ヨリ見タル資本ト勞働トノ關係　上田　貞三
15・本會ノ指導精神
16・普及會ノ回顧
17・生産費節約ノ能率增進トニ關スル調査
18・最近日本ノ勞働爭議

第23號（7月號）　　內容資料

1	第3回國際勞働會議	永井亨
2	哦メントスル勞働露西亞（上）	杉村陽太郎
3	福利施設ノ本質的意義及ヒ其ノ限界	長岡保太郎
4	英國婦人工業勞働者ノ近況	水上敬次郎
5	クリイヴランドニ於ケル失業補償	
6	最近露國ニ於ケル賃銀制度	
7	瑞西ニ於ケル勞働爭議仲裁制度	松岡均平
8	健康保險法ノ實務的考察	林癸未夫
9	歐洲ニ於ケル職傷不具者ニ對スル補償ノ實際	鳥崎一郎
10	勞働協約ニ關スル研究（上）	水谷嘉吉

11・フランス労働立法ノ新方向	岩下堅造
12・各國労働組合員増加ニ關スル統計	森田良雄
13・獨乙ニ於ケル團体契約	
14・社會調査ノ方法（下）	山口　正
15・英國ニ於ケル住宅問題	乾　眞介

第24號（6月號）　　内容資料

1・社會政策ニ關スル行政事務統一機關建設ニ關スル建議		
2・歐米諸國ノ勞働省一覽		
3・濠洲及ヒニユージーランドニ於ケル勞働事情	堀切善次郎	
4・ロメントスル勞働運動史（下）	杉村陽太郎	
5・歐米ニ於ケル職業紹介事業	永井　亨	
6・第ルヘキ第4回國際勞働會議ニ就テ	鳥崎一郎	
7・北米炭坑事情	水上敬次郎	
8・伊國失業保險制度	黒川小六	
9・勞働協約ニ關スル研究（下）	水谷重吉	
10・勞働問題ト悲觀的社會思想	澤田昌貞	

11・職業指導ノ根本問題　若林栄吉

12・ルクレールノ生涯トソノ事業　澤田謙

13・最近婦乙ニ於ケル生活ノ標準

14　英國資本家ノ產業平和論　永井亨

第25號（9月號）　　內容資料

1	各國勞働運動ノ批判的考察	永井　亨
2	人口ノ移動ト社會政策	河津　暹
3	我國ニ於ケル機械工業勞働事情一斑	草間時光
4	本邦炭坑勞働概要（上）	橋本能保利
5	獨逸失業保險制度	上田孚三
6	佛國失業保險制度（下）	鳥川小六
7	國際勞働條約案及勸告ニ對スル各國ノ措置	島崎一郎
8	所謂古參權ニ就イテ	大江武男
9	勞働移動率ノ測定	若林米吉
10	ロシアノ消費者組合運動ニ就テ	長岡保太郎
11	ギルド・ソーシヤリズム一二箇年間ノ實驗	高橋正雄

第26號（10月號）　　内容資料

1・労働問題ノ属地ヲ論シテ産業管理ニ及フ　永井亨
2・勞農労働立法協會ノ沿革　林癸未夫
3・最近頃労働會議ノ決議ト物國牙利　島崎一郎
4・米國ニ於ケル労働補償ノ現況
5・英國女子労働組合運動史（上）　森田良雄
6・海員労働一班　國得太郎
7・本邦炭坑労働概要（下）　福本龍保利
8・革命カラ海ヘマテ　杉村陽太郎
9・本邦都市ニ於ケル人口集中ノ趨勢　小林政太郎
10・ロシアノ消費者組合運動ニ就イテ　長岡保太郎

第 27 號（ 11 月號 ）　　內容資料

1 ・戰後各國ノ失業狀態及ヒ措置ニ就テ　永井　亨
2 ・物價騰貴ト勞働者　氣賀勘重
3 ・本邦鐵道勞働事情　小林政太郎
4 ・化學工業勞働現況　吉田　準
5 ・國際勞働條約ト邊羅　島崎一郎
6 ・英國女子勞働組合運動史（下）　森田良雄
7 ・勞資協調會制度ノ研究　湯田　豐
8 ・利潤分配問題ニ關スル考察　上田孝三
9 ・全國家賃調査報告　床　平藏
10 ・社會輿論（社會政策行政事務統一機關ノ設置ニ就イテ）

第 28 號（ 12 月號 ）　　內容資料

1・最近教育運動ノ基調ト労働者教育	中島久萬吉
2・戰後各國ノ失業狀態及ヒ措置ニ就テ（下）	永井　亨
3・紡績工業労働調査報告	桂
4・土地ノ共同管理	太田朋一
5・獨乙ニ於ケル工業労働時間	岩下保雄
6・英國失業保險制度	森田良雄
7・獨乙國労働爭議仲裁條例革案	
8・兒童福祉問題ノ沿革	水口誠治郎
9・女子職業ノ心理的考察	若林栄吉

1・我國ノ労働問題	床次竹二郎
2・商業立法ト産業福利	永井亨
3・最低賃金ノ意義及標準	林癸未夫
4・貨幣形態ヲ制限貨幣ニ關スル考察	佐倉重夫
5・米國ニ於ケル反八時間制論	皆川淳
6・O・T・I・ノ研究	岩下堅造
7・米國労働組合ノ現況	
8・國際労働條約案批准ノ現況	島崎一郎
9・國際労働局通信	
10・現實ノ法則トシテ現ハルソリダリテイ	寺木定一
11・カーライルノ社會哲學	高橋正雄
12・米國ニ於ケル兒童福祉問題	水上啓治郎
13・北米合衆國ニ於ケル協同組合運動	澤田謙

1・英國勞働黨ノ社會改造案　永井亨
2・消費組合ノ發達ト經營　河津暹
3・英國製造工場職工ノ地位　大江武男
4・貨幣形態殊ニ補助貨幣ニ關スル考察　佐倉重夫
5・英國堤坑夫賃銀問題　森田良雄
6・第4回國際勞働總會ニ於ケル我國各代表ノ演說
7・國際勞働局通信
8・勞働者ノ國際的運動　中井朝六
9・協調ノ社會學的意義　今井時郎
10・マルクスノ使用價値　坂千秋
11・カーライルノ社會哲學（下）　高橋正雄
12・ルイ・ブランノ勞働組織論　淺野研
13・異例兒童ニ對スル米國公立學校ノ施設　水上鶴治郎
14・フランスノ消費組合發達史　岩下巖造

第 31 號（3月號）　　內容資料

1・工場法改正案ニ對スル意見書	協調會
2・英國自由黨ノ新產業政策	永井亨
3・勞働ノ職業紹介事業統一	林癸未夫
4・英國生計スライデング・スケール賃銀制度	長岡保太郎
5・科學的管理法ト能率	若林米吉
6・海外勞働事情	協調會
7・國內勞働日誌	協調會
8・小作爭議ニヨル副生的制度ノ研究	太田利一
9・滿洲勞働運動史概要（上）	綾川武治

11・フランス消費組合發達史　　岩下喜造
11・第4回國際労働總會ニ於ケル我國各代表ノ演説
12・労働總會ニ於ケル各國代表ノ演説　　國際労働局
13・労働者ノ國際的運動　　中井源六
14・工場法改正案ノ労働時間問題ニ就テ　　鈴田幸一
15・異例兒童ニ對スル米國公主學校ノ施設　　永上俊次郎
16・マルクスノ使用價値（下）　　坂千秋
17・社會運動ノ批判的原理トシテノ社會政策　　櫛田譲
18・伯林通信
19・最近日本ノ労働運動
20・第4回國際労働總會ニ於ケル我國各代表ノ演説

第32號（4月號）　　内容要旨

1・獨國共產黨ノ新經濟及勞働政策（上）	永井亨
2・英國ノ失業狀態	高實正晴
3・我國製絲工女供給組合ニ關スル調査	山上清藏
4・歐洲勞働運動史概要（下）	綾川武治
5・失業保險費用ノ負擔	藤田良雄
6・傷兵ノ再教育	小林愛太郎
7・不況期ニ於ケル諸國使用主團体ノ態度	國際勞働局
8・雇傭トシテノ法律ノ社會化及ヒ自由法	牧野英一
9・シユタムラーノ社會哲學	中島重次
10・社會運動トシテノ消費者組合	澤田謙

第 55 輯（ 6 月號 ）　　内容細目

1．露國共産黨ノ新經濟及勞働政策（下）　永井亨
2．賃銀政策トシテノスライデング・スケール　佐倉孫夫
3．勞働移動ニ就テ　山崎覺次郎
4．堺利彦子爵合ノ研究　新田一
5．社會民政ニアイテ　一戸二郎
6．勞働條約改正手續問題　加藤三郎
7．國際勞働局通信
8．「プロレツトカルト」ト「マルキシズム」　永井亨
9．社會主義トレテノ社會主義　福田徳
10．勞働爭議ニ關スル考察　若林米吉

第5A號（6月號）　　內容資料

1．勞乙社會民主黨ノ產業及社會政策　永井亨
2．勞働組合ニ關スル諸法制　林癸未夫
3．各國失業保險制度　森田良雄
4．本邦海寸工業勞働調査（上）　吉田寧
5．ウエツブノ「產業不況時代ニ於ケル英國勞働運動」　永上徹次郎
6．歐洲諸國ニ於ケル家族賃銀制度　吉田
7．米國職道工場職工ノ主張　大江武男
8．米國ニ於ケル婦人工業勞働問題ノ新傾向　成瀨信夫
9．勞働勞働局通信
10．資本主義運動ト社會政策　澁田隆
11．個人精神ト社會精神　若林米吉
12．英國ニ於ケル勞働法制　エス・サンガー譯
13．Labour Legislation in Great Britain　Miss. S. Senger

第35號（7月號）　　內容資料

1	佛國社會黨ノ政綱トC・G・T・ノ宣言	永井　亨
2	米國ニ於ケル勞働賃銀ノ推移	吉田
3	失業ノ責任ト我國ノ失業保險	森田良雄
4	少年勞働者問題	青木得祐
5	本邦中小工業勞働調査（下）	吉田　寧
6	產業組合ノ本質	上田貞次郎
7	最近英國ノ住宅政策（上）	澤田　謙
8	新ラシキ救濟ザイオニズム	藤佐俊彥
9	改正工場法ノ施行ニ就テ	神田孝一
10	1922年ニ於ケル各國勞働組合運動（上）	國際勞働局
11	アダム・スミスノ生涯	高橋誠一郎
12	應用心理ヨリ見タル職業分析	若林栄吉
13	思想家トシテノラテナウ	
14	獨乙ノ社會法則	フース
15	Deutsche Sozialgesetzgebung.	Dr. Fuss

第36號（8月號）　　內容資料

1	各國ニ於ケル産業政策ノ所在	永井　亨
2	少年法ノ現狀	小野清一郎
3	最近英國ノ住宅政策（下）	澤田　謙
4	本邦金屬鑛業労働事情（上）	岡本龍保利
5	8時間労働令ニ對スルドイールノ批評	佐倉重夫
6	英領カナダニ於ケル労働組合運動狀況	木上俊夫郎
7	イタリアノギルド運動	吉田
8	1922年ニ於ケル各國労働組合運動（下）	國際労働局
9	生存ノ倫理	友枝高彦
10	プルードン研究	横晉研究
11	イタリアノ社會法制	ガローネ
12	La Legislation Sociale en Italie.	Dr. Galloné

第37號（9月號）　内容資料

1・産業立直政策ノ提唱	永井　亨
2・工場法施行令改正案私評	神田孝一
3・帝乙失業者扶助制度	森田良雄
4・第2回全國家賃調査（上）	林　平馬
5・本邦金屬鑛業労働事情（下）	橋本龍伍
6・工場委員會制ニ對スルーツノ見方（上）	寺木伊一
7・獨乙ノ通信吏員組合	苔林米吉
8・起ルヘキ國際労働總會ト工場監督制度問題	吉原俊藏
9・國際労働局通信	

第38號　（11月號）　内容資料

1. 職業安定法ニ關スル意見書
2. 労働組合及失業手當支給ニ關スル意見書
3. 大震災ト社會政策・大震災ト社會思想　永井亨
4. 大震災ト社會事業　田澤鐵二郎
5. 震災ノ災厄ト法律思想ノ改造　牧野英一
6. 震災ト道徳的觀察　友枝高彦
7. 震災救ノ失業救濟ノ實施　河津暹
8. 大震災ニ伴フ失業問題　建部遯吾
9. 震災救ノ労働給與ノ實施

第39號　（12月號）　内容資料

1. 現代社會思潮ト最近ノ經濟思想　永井亨
2. 失業賠償保險ニ就テ　森田良雄
3. 解放人者扶助法ヨリ失業者保險法案ヘ　關戸覺一

4・最低賃金法ノ経済上ニ及ボス影響　吉田
5・英國勞働者ノ住宅政策批判　[illegible]
6・大正12年ニ於ケル日本勞働運動ノ概況　[illegible]谷蔵
7・フランス勞働組合ノ現勢　水上啟次郎
8・工場委員會制ニ對スルオーツノ見方(下)　[illegible]一
9・獨國ニ於ケル賃金變動ノ傾向　[illegible]局
10・第2回全國家賃調査(下)　[illegible]
11・カアル・マルクスノ遺稿抄　久留間鮫造
12・哲學者トシテノラツサーレ　大森貞一郎
13・アメリカ合衆國ノ勞働法規　ミーカー
14・On "Labour law" in the United States.　Dr.Meeker

大正13年度

第40號（1月號）　内容資料

1・勞働運動ト普通選擧　水井亨

2 ・歴史派経済学ト社會政策　高橋誠一郎
3 ・ネオ・マンチエスターツムト社會政策ノ危機　佐合重夫
4 ・社會ノ類度　福良哲郎
5 ・本邦繊維業労働事情(1)　桂
6 ・最近獨乙ニ於ケル労働組合運動　青木徳一
7 ・牧野博士「通次ノ災厄ト法律思想改造」ヲ讀ム　梁瀬滋亮
8 ・英國戰後ノ失業救濟ニ關スル立法　久保田明光
9 ・本邦職工ノ生計調査報告　林　平馬
10 ・フランス労働立法ノ体系　コロンバン

第41號　（2月號）　内容資料

1 ・産業政策ノ變遷ト各國政策ノ消長　永井亨
2 ・最ネテ法律思想ノ改造ニ就テ　牧野英一
3 ・瑞西ニ於ケル失業者保護施設　小[illegible]

第 78 號

4・産業別失業保險近況　森田良雄
5・科學的管理法ト勞働者ノ權利　野田信夫
6・本邦製絲業勞働事情(2)　桂
7・都市ノ土地政策(上)　澤田謙
8・農村救濟ニ關スル一考察　松岡忠一
9・本年ノ國際勞働總會　吉阪俊藏

第 42 號　（3月號）　內容資料

1・國体觀念ト政治思想　永井亨
2・智的勞働者問題　青木周一
3・小作爭議ノ調停ニ就テ　太田哲一
4・勞働移動防止ニ關スル研究　前田一
5・本邦製絲勞働事情(3)　桂
6・社會保險ノ分科ト其ノ實施機關　清水玄
7・小工業ノ意義及其ノ對策　吉野信次

8・都市ノ土地政策(下)　　広 79
9・本邦傷痍生活者ノ生計調査報告　　澤田 竹
10・ベニト・ムツソリニノ今昔観　　林 平
　　水上
第43號　（4月號）　内容資料
1・我國電燈政策ノ既往及ヒ將來　　水井
2・信用制度ト社會運動　　田井
3・社會階級ノ消長　　今井
4・フランスニ於ケル利潤分配制度　　久保田明光
5・獨逸ニ於ケル適性考査施行ノ現況　　時田
6・本邦製絲業勞働事情完　　
7・「獨立勞働黨」ノ發達　　水上
8・フエビアン協會ト社會政策　　澤田
9・英國失業保險ノ見舞金制度　　
10・カントノ實在道徳ト現代ノ社會思潮　　友

第44號　（5月號）　内容資料

1	獨逸ノ政治運動	永井亨
2	現實世界ト勞ノ國	高橋一郎
3	英國勞働運動略史	澤田謙
4	勞働運動成立要素ノ史的概觀(上)	伊東乃
5	勞働經濟政策ノ變化トソノ結果	青木節一
6	シカゴ市ニ於ケルセツトルメント事業(上)	桜谷川良信
7	勞働ニ及ボス本能ノ影響	若林米吉
8	ドイツニ於ケル工業社會化運動	吉田
9	勞働組合ト失業保險	森田良雄
10	社會施設ニ關スル一考察	生江孝之
11	ドイツ文化ノ破綻	永上政治郎
12	カントノ社會思想	兒玉遵
12	カントノ生涯トソノ著書	松永材

第 81

第45號（6月號）　内容資料

12	外米關稅ト内地米價	半澤玉樹
1	米國ノ社會組織ト排日問題	永井亨
2	勞働組合法ニ就テ	吉阪俊藏
3	本邦綿子工業勞働事情(上)	吉田亨
4	我國最初ノ失業調査(上)	遠山敏彦
5	英國勞働者ノ有スル産業交渉機關	長岡保太郎
6	失業救濟トシテノ移民政策	森田良雄
7	カナダ製鋼職工爭議ノ顛末	大江武男
8	勞働運動成立要素ノ史的概觀(下)	伊東乃
9	利潤分配制度ノ立法運動及立法	久保田明光
10	排日移民法トアメリカ勞働總同盟	水上啓治郎
12	シカゴ市ニ於ケルセツトルメント事業概	長谷川良信
12	革命ヲ繼ル道	澁澤榮一

第40號（7月號）　内容資料

1	英國ノ保守黨及ヒ自由黨ト自由主義思想	永井亨
2	社會連帶主義ニ於ケル國家的干渉ノ根據	増井幸雄
3	英國ニ於ケル成人教育ノ發達	山田雄一
4	アメリカ合衆國第三黨運動	水上啓治郎
5	シカゴニ於ケルセツトルメント事業(下)	長谷川良信
6	本邦ニ於ケル生計調査ノ概要	鍋原平八
7	神戸市ニ於ケル自由勞働者ノ失業及ヒ生活狀態	久留弘三
8	本邦硝子工業勞働事情(下)	吉田寅
9	英國最初ノ失業調査(下)	建設敎育協會
10	本邦勞働爭議一覽表	吉田
11	國立産業統制機關ノ效果	國際勞働局
12	世界ノ組織勞働者總數	

13 ・來年ノ労働組合

14 ・社會主義ノ哲學

第47號 （8月號） 內容資料

1 ・英國ノ労働黨ト社會主義思想 永井亨

2 ・パツシイフ・ウイデルスタンドノ措置 小林政太郎

3 ・小作爭議調停ノ效果 太田利一

4 ・本邦電車從業員労働事情(上) 國得次郎

5 ・現乙ニ於ケル8時間労働制ノ危機 宇津宮鍋

6 ・現乙失業扶助令ノ改正ト強務労働 森田良雄

7 ・資本課稅ト戰債稅 澤田謙

8 ・土地區劃整理問題ニ關スル一考察 弓家七郎

9 ・トーマ氏「共産ニ對抗スル國」 國分初助

第48號 （9月號） 內容資料

1 ・新社會政策ニ關スル國際運動 永井亨

2 社會政策ニツイテ　一本淸一
3 解雇ニ關スル法制　手田良作
4 資本ノ發展ト勞働者及ヒ勞働運動　須野永太郎
5 革命前ロシアノ勞働運動　水上滋治郎
6 米國勞働組合同盟ニ於ケルインダストリアル・ユニオニズム　澤田謙
7 赤露ニ於ケル婦人ノ活動　坂田實
8 結社ノ自由ト勞働組合主義　國際勞働局
9 本邦電氣從業員勞働事情附　岡得太郎
10 少年勞働ト少年犯罪　三好豐太郎
11 傷痍軍人復業事業ト社會政策　菊地傳三

第49號（10月號）內容資料

1 哲學的及ヒ化學的見地ヨリ見タル社會主義　永井亨

2・加特力教經濟學ノ衰滅	高橋誠一郎
3・勞働法ノ目的	安井英二
4・本邦電車從事員勞働事情(下)	岡林太郎
5・產業災害ノ起因ニ就テ	鈴木久藏
6・住宅ノ豫暇利用ニ及ホス影響	國際勞働局
7・海外勞働事情	協調會
8・國內勞働日誌	
9・大阪學生ノ罷工破リニ就テ	伊東乃
10・英國ノ新工場法案(上)	吉阪俊藏
11・英國ニ於ケル勞働爭議調停制度(上)	伊東清
12・社會主義カラ社會政策ヘ	永井亨
13・ウイリアム・ロヴエット	小島幸治
14・託兒所及簡易宿泊所設立	
15・最近日本ノ勞働運動	

第 80 回　（11月例）　内容資料

1	東西ノ民族性ト社会思想(日)	永井亨
2	人件管理問題トシテノ郵給事件ノ考察	神田孝一
3	家族賃銀ノ意義	佐倉富夫
4	埼玉鉱鉄父地方ニ於ケル機械類ノ変遷ト之ニ伴フ産業組織ノ変化	笹
5	英国模范夫ノ賃銀協定トソノ效果	水上啓吾郎
6	海外労働事情	
7	国内労働日誌	協調会
8	英國ノ新工場法案(下)	吉阪俊蔵
9	英国ニ於ケル労働爭議調停制度(中)	伊東清
10	第6回国際労働総会	國際労働局
11	近代社会學說ノ發展トサン・シモン主義	久保田明光
12	アダム・スミスト社会政策	伊東乃

13・朝鮮民族ト扶養関係　　S 57
14・須乙ヨリ　　生江孝之 稲垣守克

第61號　（12月號）　内容資料

1・東西ノ民族性ト社會思想(下)　　永井亨
2・鄰船事件ト社員ノ團結　　河津暹
3・ジョン・スチユアート・ミルト社會主義　　上田貞次郎
4・勞働協約ノ研究(1)　　安井英二
5・利益分配制度ト最近ノ併國法制　　職分局
6・英國ニ於ケル勞働爭議調停制度(下)　　伊藤尚
7・大正13年ニ於ケル日本勞働運動ノ概況　　栗須谷政一
8・大正13年ニ於ケル小作爭議概觀　　稲田昌植
9・海外勞働事情　　協調會
10・國内勞働日誌　　特別作業
11・第5回全國家賃調査

12 ・アダム・スミスト社會政策(下)　伊東乃

大正14年度

第52號　（1月號）　内容資料

1 ・勞働組合ノ法律上ノ資格　永井亨
2 ・法律ニ於ケル同順的ト理想的　牧野英一
3 ・社會的進歩ノ原理トシテノ道德　友枝高彦
4 ・社會道程　綿貫哲雄
5 ・現代社會ニ於ケル資本ノ構成　出井盛之
6 ・耕作權ノ保障ト小作組合法　太田耕一
7 ・勞働協約ノ研究(2)　安井英二
8 ・歐洲各國ノ社會保險　森田良雄
9 ・本邦印刷工業勞働事情(1)　革新時光
10 ・海外勞働事情
11 ・國内勞働日誌

12・國際勞働機關ノ新傾向(上)　田中孫枝

第55號（2月號）　內容資料

1・立法上ヨリ見タル勞働組合ノ機能　永井亨
2・正義論ト勞働價値說　高橋誠一郎
3・社會連帶主義ニ於ケル任意的組合運動　增井幸雄
4・貴族院改革ト勞資問題　五來欣造
5・勞働移動ノ統計的研究(上)　前田一
6・フランスノ金圓經濟會議案　永上良治郎
7・海外勞國事情　協調會
8・國內勞働日誌　協調會
9・國際勞働機關ノ新傾向(下)　田中孫枝
10・人道問題ノ國際的解決　青木節一
11・勞働協約ノ研究(3)　安井英二
12・治罪第17條制定當時ノ帝國議會　林癸未夫

13・Japanese labour notes

第54輯（3月號）　内容資料

1・勞働爭議調停法案ニ對スル修正意見書	協調會
2・普通選擧ト新無產政黨ノ將來	高畠素之
3・資力ナキ刑事被告人ノ辯護	小野清一郎
4・文化ト國家	北日令吉
5・各國々民性ノ史的考察	永井亨
6・勞働移動ノ統計的研究(下)	
7・工場災害ノ度數率ト輕重率	靜田一
8・海外勞働事情	協調會
9・國內勞働日誌	協調會
10・ソヴイエツトロシアノ勞働組合	久保田明光
11・ブラーグノ社會政策國際會議	
12・勞働協約ノ研究(4)	安井英二

13 ・米國勞働組合ノ失業基金制度　　兼田良雄
14 ・大戰中ニ於ケル露國ノ協同組合運動　　國際勞働局
15 ・Japanese labour notes.

第 55 號 （4月號）　内 容 資 料

1 ・現代國民性ノ比較研究　　永井　亨
2 ・生誕百年ニ當レルラツサーレノ生涯ト事業(上)　　青木前一
3 ・勞働協約ノ研究(5)　　安井英二
4 ・赤色及ヒ「黄色」共同戰線　　永上銀治郎
5 ・本邦印刷工業勞働事情(3)　　草間時光
6 ・海外勞働事情
7 ・國内勞働事情
8 ・街頭社會觀　　今井時郎
9 ・マルサスノ社會政策觀(上)　　伊東　乃

10・プロレタリアノ家庭保護ニ就テ　　菊地博二
11・ソヴエツトロシアニ於ケル協同組合運動　　國際労働局

第56號　（5月號）　内容資料

1・人口増加ト社會進歩　　高橋誠一郎
2・我國ノ大陸關係ト労働者階級　　出井盛之
3・國民性ノ研究ト史觀論　　永井亨
4・上海邦人紡績職業ノ顛末(上)　　久留弘三
5・労働協約ノ研究(6)　　安井英二
6・本邦製酒工業労働事情　　吉田寧
7・海外労働事情
8・國内労働日誌　　協調會
9・アメリカニ於ケル成人教育　　澤田謙
10・富ノ觀念ノ史的變遷　　長岡半太郎
11・生誕百年ニ當レルラツサーレノ生涯ト事業(中)　　青木一男

12・マルサスノ社會政策論(下)　伊東乃
13・75回ノ誕辰ヲ迎フルベルンシタイン　カウツキー

第57號（6月號）　内容資料

1・ブランキズムトマルクシズム　小泉信三
2・アダム・スミスノ婦人論　永井亨
3・ドイツ社會主義運動ノ近況　水上啻治郎
4・上海邦人紡績業ノ顛末(下)　久留弘三
5・本邦印刷工業勞働事情(4)　草間時光
6・本邦造酒工業勞働事情(下)　吉田亨
7・海外勞働事情
8・國内勞働日誌　協調會
9・勞働協約ノ研究（7・完）　安井英二
10・災害保險ノ發達　清水玄
11・スペングラーノ社會主義觀　綱島守克

12・生誕百年ニ當レルラツサーレノ生涯ト事業(下)　青木節一
13　國際勞働機關ノ近狀　國際勞働局

第58號（7月號）　內容資料

1・勝海舟吉ノ日本婦人論　水井亨
2・失業對策トシテノ金融政策　佐倉眞夫
3・支那ニ於ケル最近ノ勞働問題　濱野末太郎
4・本邦印刷工業勞働事情(5)・完）　草間時光
5・海外勞働事情
6・國內勞働日誌
7・本邦使用者團体ノ現狀(上)　篠田長雄
8・勞働者募集取締令概論(上)　木村清司
9・各國勞働組合運動史（ネストリーブゲ）

第59號（8月號）　內容資料

1・我國近世ノ農民政策　本庄榮治郎

2・多數者政治ニ於ケル二ツノ根本的現象　高橋清吾
3・本邦最近ノ勞働事情(1)　藤田千代
4・海外勞働事情
5・國內勞働日誌　協調會
6・イギリス獨立勞働黨大會　水上啓治郎
7・本邦使用者團体ノ現狀(下)　森田良雄
8・英國社會思想ノ變遷ト勞働政策　米本トシ枝
9・勞働者募集取締令概論(中)　木村清司
10・マツクス・ヴントノ現代ドイツ國家批判　兒玉童
11・各國勞働組合運動史（ネストリープケ）

第60號　（9月號）　內用資料

1・5週年ヲ迎フ
2・新社會政策体系ニツイテ　永井亨